

高温及び少雨に係る庄内地域関係機関警戒・対策連絡会議

日 時 令和7年7月29日(火)

午後2時～

場 所 庄内総合支庁応接室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1) これまでの気象概況及び今後の気象の見込みについて 資料1

(2) 高温及び少雨による影響と今後の対応について

①熱中症対策の主な取組みについて 資料2

②県内の熱中症による救急搬送状況について 資料3

③県民への熱中症予防の注意喚起について 資料4

④公立学校における熱中症対策について 資料5

⑤農林水産業への影響について 資料6

⑥県管理ダムの状況について 資料7

⑦水道等への影響について 資料8

⑧林野火災野火等の発生状況等について 資料9

(3) 市・町からの情報提供

4 そ の 他

5 閉 会

高温及び少雨に係る庄内地域関係機関警戒・対策連絡会議（7/29開催）
出席者名簿

	所 属	職 名	氏 名
市 町	鶴岡市	防災安全課長	本間 勝則
		水道課長	加藤 誠
	酒田市	危機管理課長	佐藤 千尋
	三川町	総務課危機管理室長	鈴木 亨
		危機管理係 係長	阿部 直人
	庄内町	環境防災課長	中野 正樹
	遊佐町	総務課長	鳥海 広行
県	庄内総合支庁	総合支庁長	荒木 泰子
		総務企画部長	黒木 幸治
		保健福祉環境部長	吉田 正幸
		保健企画課長	佐藤 圭次
		生活衛生課長	田村 和也
		農林技監（兼）農村計画課長	門脇 健
		次長（兼）農業技術普及課長	高梨 良子
		地域産業経済課長	小松 弘幸
		建設部長	小林 雅史
		河川砂防課長	鷹濱 潤
		建設総務課 副主幹	大川 哲
	企業局鶴岡電気水道事務所	所長	佐藤 彰
	企業局酒田電気水道事務所	所長	佐藤 任
	庄内教育事務所	所長	宮崎 吉成

（事務局）

	所 属	職 名	氏 名
	庄内総合支庁	総務課長	佐久間一徳
		防災安全室長	高田ちづる
		総務課副主幹	玉川幸二郎
		室長補佐	池田 誠司
		防災安全主査	堀 昌史

令和7年7月29日
高温・少雨対策会議

今後の気象の見込みについて

山形地方気象台

気象経過（6月1日から7月24日）

【6月の特徴と概況】

○記録的な高温 ○梅雨入り6月14日ころ（速報）

6月は、高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、梅雨前線や低気圧の影響で、中旬は雨や曇りの日が多かった。

- ・山形など21地点で月平均気温の高い方から6月として1位を更新。
- ・新庄など7地点で日最高気温の高い方から6月として1位を更新。
- ・山形など10地点で日最低気温の高い方から6月として1位を更新。

月平均気温はかなり高く、月平均気温、日最高気温、日最低気温のいずれも高い方から6月の極値を更新する地点もあるなど、記録的な高温となった。月降水量は平年並か少なく、村山ではかなり少ない所があった。

気象経過 (6月1日から7月24日)

【7月の特徴と概況】

○**かなりの高温** ○**かなりの少雨** ○**梅雨明け7月18日ころ (速報)**
上旬は、東北地方は気圧の谷となり曇りや晴れで雨が降った所がある。特に10日は梅雨前線の影響により大気の状態が不安定となり置賜では局地的に大雨となった。旬平均気温はかなり高い。旬降水量はかなり少ない。
中旬は、高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、期間の中ごろは気圧の谷や暖かく湿った空気の影響で曇りや雨の日があった。また、山形県を含む東北南部は、7月18日ころに梅雨明けしたとみられる(平年より6日早い、昨年より14日早い)。旬平均気温は、庄内・村山・最上でかなり高く、置賜は高くかなり高い所があった。旬降水量は、庄内・村山・置賜ではかなり少ない。

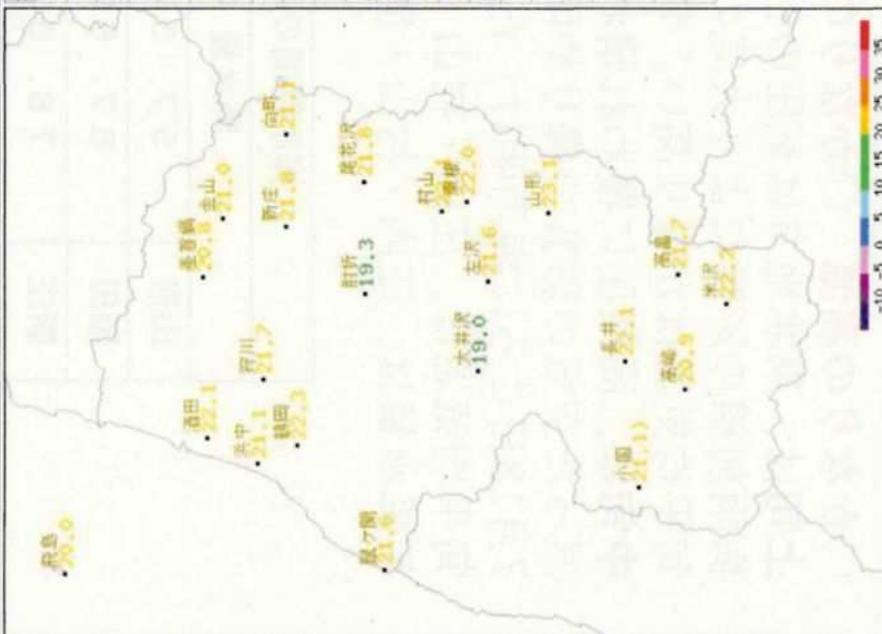
梅雨期間の降水量 (2025. 6. 14~7. 17 速報値)		
	降水量 (平年値)	平年比
山形	57. 5ミリ (183. 9ミリ)	31%
酒田	87. 5ミリ (231. 8ミリ)	38%
新庄	78. 5ミリ (232. 4ミリ)	34%

※極値更新等については、「山形県の天候」参照 (7月分は8月4日頃更新予定)
<https://www.jma-net.go.jp/yamagata/detail/synopsis.html>

気象経過 【6月の降水量、平均気温】

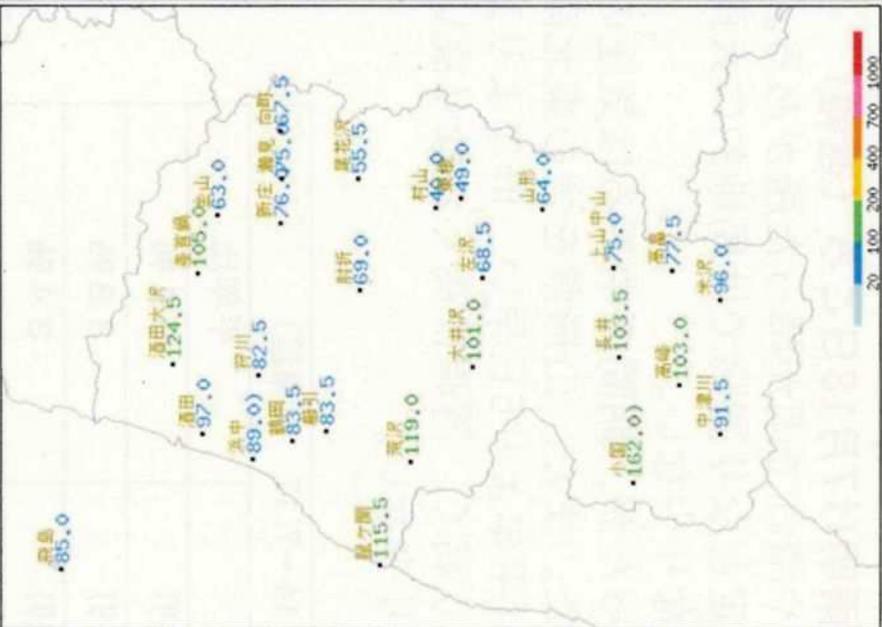
アメダス月別値2025年6月 平均気温 (°C)

地点名	実況値	平年値	平年差
飛島	20.0	18.4	+1.6
酒田	22.1	20.0	+2.1
差首鍋	20.8	18.4	+2.4
浜中	21.1	19.5	+1.6
金山	21.0	18.6	+2.4
鶴岡	22.3	20.1	+2.2
狩川	21.7	19.6	+2.1
新庄	21.8	19.3	+2.5
向町	21.1	18.3	+2.8
肘折	19.3	17.0	+2.3
尾花沢	21.8	19.0	+2.8
鼠ヶ関	21.6	19.2	+2.4
村山	22.1	19.9	+2.2
東根	22.0	20.0	+2.0
大井沢	19.0	16.9	+2.1
左沢	21.6	19.0	+2.6
山形	23.1	20.3	+2.8
長井	22.1	19.3	+2.8
小国	21.1	18.9	+2.2
高島	21.7	19.6	+2.1
高峰	20.9	18.5	+2.4
米沢	22.2	19.8	+2.4



アメダス月別値2025年6月 降水量 (mm)

地点名	実況値	平年値	平年比(%)
飛島	85.0	91.4	93
酒田	97.0	125.3	77
酒田大沢	124.5	//	//
差首鍋	105.0	189.8	55
浜中	89.0	102.7	87
金山	63.0	136.6	46
鶴岡	83.5	124.3	67
狩川	82.5	125.2	66
新庄	76.0	126.0	60
瀧見	75.0	142.3	53
向町	67.5	137.2	49
柳引	83.5	129.1	65
肘折	69.0	135.0	51
尾花沢	55.5	105.6	53
鼠ヶ関	115.5	137.7	84
荒沢	119.0	178.9	67
村山	40.0	91.4	44
東根	49.0	86.1	57
大井沢	101.0	166.7	61
左沢	68.5	115.4	59
山形	64.0	104.8	61
長井	103.5	141.8	73
上山中山	75.0	103.5	72
小国	162.0	191.7	85
高島	77.5	103.6	75
中津川	91.5	147.0	62
高峰	103.0	130.7	79
米沢	96.0	114.0	84



気象庁 気象情報 (2025年6月)

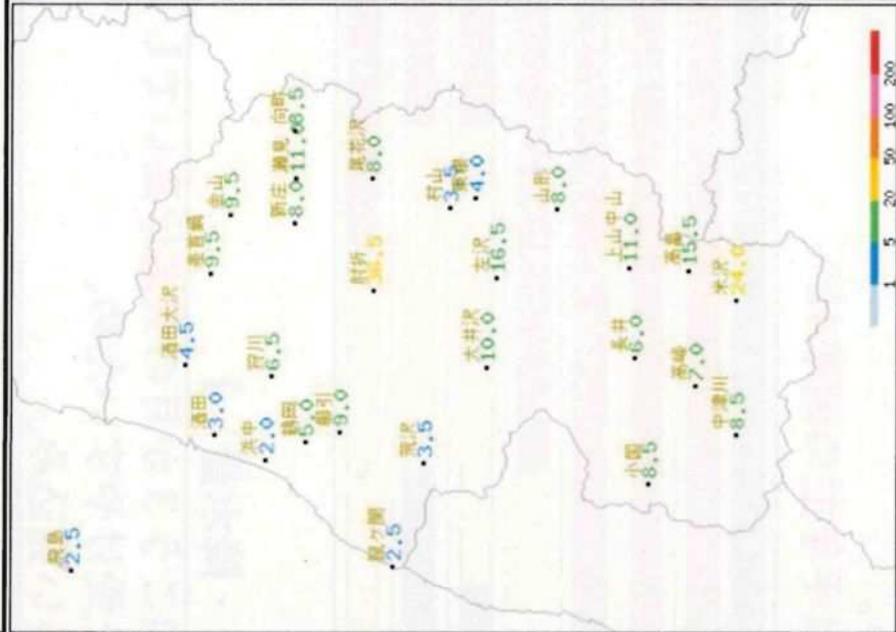
気象庁 気象情報 (2025年6月)

気象経過 【7月1日から24日の降水量、平均気温】

アメダス月別値2025年7月1日～24日 平均気温 (°C)



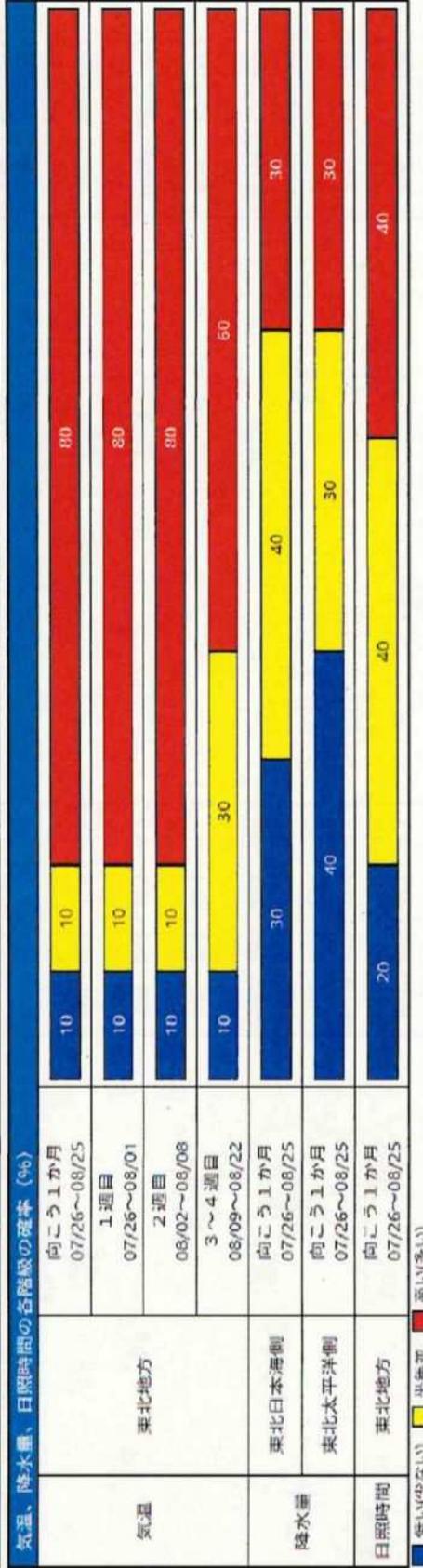
アメダス月別値2025年7月1日～24日 降水量 (mm)



今後の天候の見通し

【1か月予報（天候・平均気温・降水量・日照時間）：7月26日～8月25日】

- 平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
- **平均気温は高い確率80%** **降水量は平年並の確率40%**



【3か月予報（9～10月の天候と平均気温・降水量）】

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう3か月の**気温は高い**でしょう。
- 低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすいため、向こう3か月の**降水量は平年並か多い**見込み。

9月：天気は数日の周期で変わる見込みです。

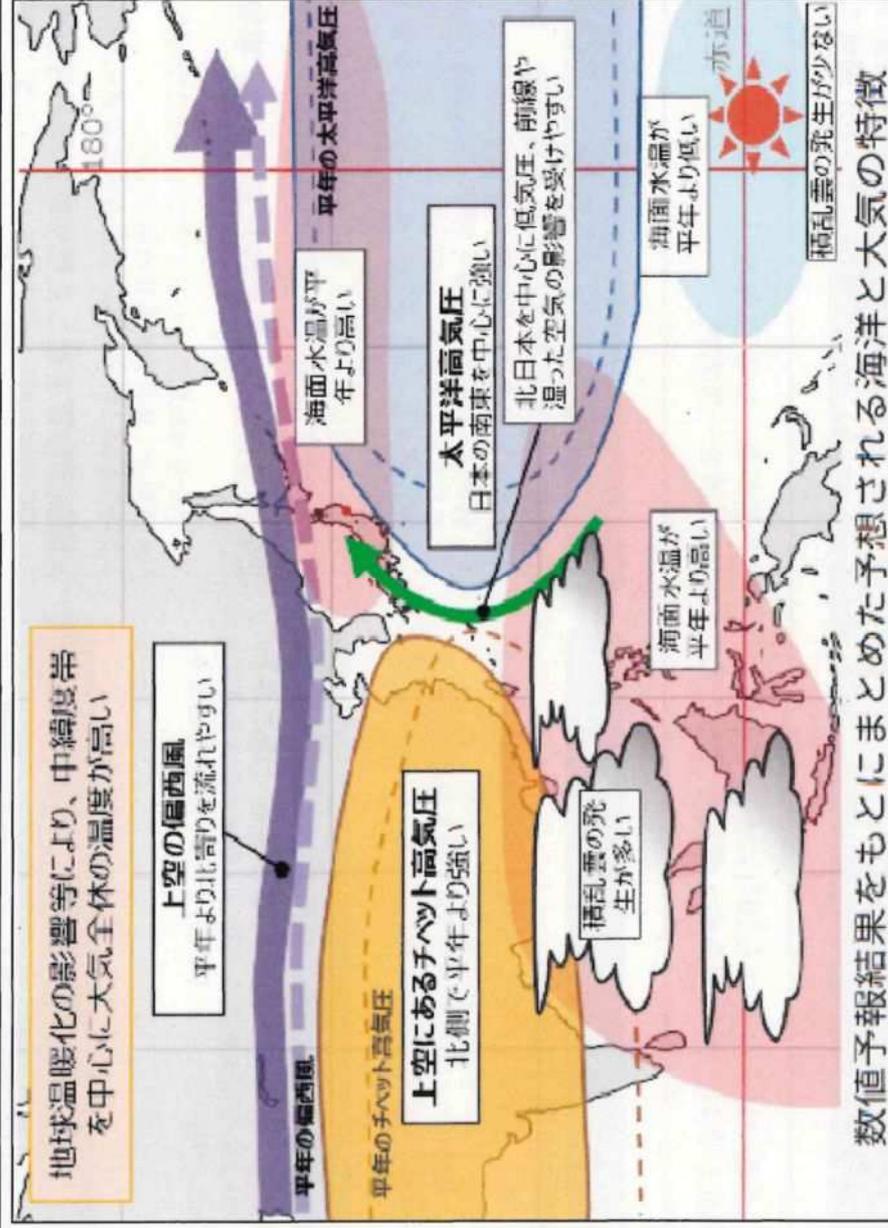
平均気温は高い確率50% **降水量は多い確率40%**

10月：天気は数日の周期で変わる見込みです。

平均気温は高い確率50% **降水量は多い確率40%**

予想される海洋と大気の特徴

- ・地球温暖化の影響等により、中緯度帯を中心に大気全体の温度が高い。
- ・積乱雲の発生は、インド洋東部からフィリピンの東方海上にかけて多く、太平洋中部の熱帯域では少ない見込み。
- ・これらの影響により、上空の偏西風は、平年より北寄り流れやすく、チベット高気圧は、北側で平年より強く、太平洋高気圧は、日本の南東を中心に強い。
- ・このため、東北方は暖かい空気に覆われやすい見込み。



数値予報結果をもとにまとめた予想される海洋と大気の特徴

熱中症対策の主な取組み

- ・気象庁の向こう三か月予報では、8月から10月にかけて平年より平均気温が高くなる見込み
- ・暑さの本格化及び長期化に向け、県民の生命・健康を守るための熱中症対策を一層推進

1 庁内体制の整備

○山形県熱中症対策会議等の設置【環エネ】

今後も見込まれる酷暑に対し、各部署が連携した確かな熱中症対策を実施するため、知事をトップとする「山形県熱中症対策会議」を設置
また、関係部局が連携し、総合的かつ計画的に熱中症対策を推進していくため、対策会議の下に「山形県熱中症対策調整会議」を設置

2 クーリングシェアターの利用促進等

○市町村における指定の推進、県民における利用の促進【環エネ】

市町村に対してクーリングシェアターの制度を周知し、指定を働きかけるとともに、市町村が指定した施設が地図上で分かるWEBマップの作成等により、県民の利用を促進

3 熱中症対策のための設備導入等

①学校・児童養護施設等への可撤式冷房機器の導入（令和6年度までに整備済）

【教育、総務、子育てほか】
・市町村立中学校 ・ 県立学校（中学、高校、特別支援） ・ 私立高等学校
・ 青少年教育施設 ・ 一時保護施設 ・ 児童養護施設 など

②通学時の安全対策等に対する支援【教育】（令和6年度助成終了）

小中学生の通学時における安全対策等として、携帯電話等の購入が困難な生徒保護世帯に対する購入援助を行う市町村に対して助成

③職場における熱中症対策の強化【総務】（令和7年度新規）

労働安全衛生規則の一部改正（令和7年6月1日施行）により職場における熱中症対策が強化されたことを受けて、熱中症を生ずるおそれのある作業に係る報告体制の整備、措置フロアの作成、各職員への周知を実施

4 県民への注意喚起・普及啓発

①県民に対する熱中症への注意喚起、熱中症の予防と対処方法に関する普及啓発【健福、総務】

- ・熱中症への警戒が必要と判断される場合におけるプレスリリース及び県公式SNSによる随時の注意喚起
- ・テレビ、ラジオ、新聞、県ホームページ等を活用した熱中症の予防、対処方法に関する普及啓発

※ SNSなどを使用しない方にも情報を伝えるため、熱中症予防啓発チラシを作成し、市町村と連携して回覧板等を活用した情報発信を実施

②学校等における熱中症対策の実施、事故防止の徹底

【教育、総務、子育て】

- ・熱中症事故防止に向けて早期から注意喚起を実施

- ・運動会・体育祭の実施時期の見直し

- ・幼児教育・保育施設、児童養護施設等における熱中症対策実施の呼びかけ

③関係団体等を通じた熱中症対策の呼びかけ【各部署】

関係団体を通じた労働現場、イベント等における熱中症対策実施の呼びかけなど

④県の施設及び県主催イベント等における熱中症対策の徹底【各部署】

⑤熱中症による救急搬送状況の公表【防災】

県民に熱中症に対する注意を促すため、週ごとの熱中症による救急搬送状況を公表（概ね4月下旬～10月上旬）、併せて「山形県救急電話相談」の周知を実施

環境エネルギー部における熱中症対策の取組みについて

1 熱中症警戒アラート等について

(1) 本県における熱中症警戒アラート等の発表回数

熱中症警戒アラート発表回数				
R 7	R 6		R 5	
4/23~7/28		4/25~7/31		4/26~7/31
3	4	0	24	2
熱中症特別警戒アラート※発表回数				
発表の実績なし				

※熱中症特別警戒アラートについては、全国的にも発表された実績なし

(2) 熱中症警戒アラート発表時等の対応

- 市町村に対して、地域住民への発信等呼びかけ（アラート発表に備えて、市町村との情報伝達訓練を実施（5/29））
- 各部局に対して、業務や主催するイベント等での熱中症対策の徹底を依頼
- 庁内放送により、来庁者及び職員へ向けた熱中症に対する注意喚起を実施

2 クーリングシェルターについて

(1) 市町村におけるクーリングシェルターの指定状況

R7.7.3時点

No.	市町村名	施設数	No.	市町村名	施設数	No.	市町村名	施設数
1	山形市	69	13	南陽市	16	25	大蔵村	4
2	米沢市	41	14	山辺町	4	26	鮭川村	2
3	鶴岡市	59	15	中山町	3	27	戸沢村	3
4	酒田市	47	16	河北町	13	28	高島町	9
5	新庄市	23	17	西川町	3	29	川西町	9
6	寒河江市	13	18	朝日町	3	30	小国町	3
7	上山市	16	19	大江町	7	31	白鷹町	9
8	村山市	14	20	大石田町	2	32	飯豊町	8
9	長井市	9	21	金山町	4	33	三川町	6
10	天童市	21	22	最上町	2	34	庄内町	14
11	東根市	12	23	舟形町	6	35	遊佐町	8
12	尾花沢市	7	24	真室川町	8	合計		477

(2) クーリングシェルターに係る県の対応

- 市町村が指定したクーリングシェルターの施設名、場所、利用可能日時等について県ホームページで公表
- 指定された施設の位置が地図上で分かるWebマップを作成し公表
- クーリングシェルターについて、テレビやラジオにより県民へ向けた周知・啓発を実施（テレビ：7/18_NHK山形 ラジオ：7/11_NHKラジオ第1、7/23_エフエム山形）

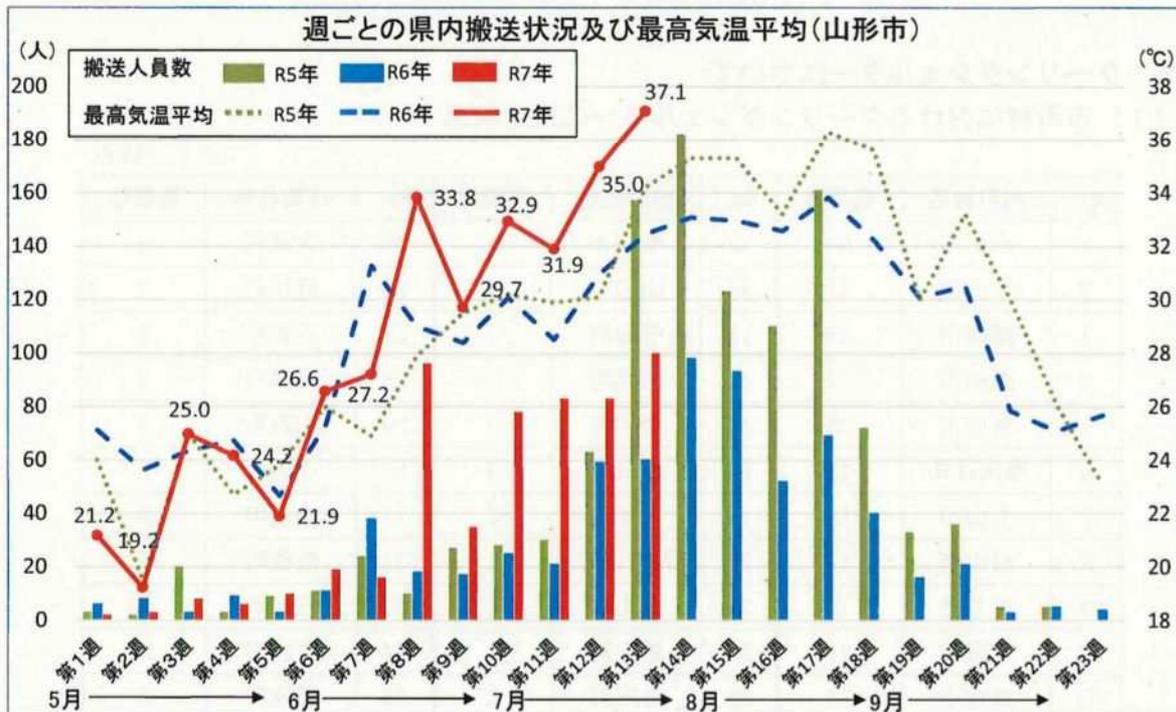
県内の熱中症による救急搬送状況

1 年齢及び傷病程度(初診時)

(単位:人)

年 (調査期間)	搬送 人員数	年齢区分					初診時における傷病程度				
		新生児 (生後28 日未満)	乳幼児 (7歳 未満)	少年 (18歳 未満)	成人 (65歳 未満)	高齢者 (65歳 以上)	死亡	重症	中等症	軽症	その他
令和5年 (5/1~10/1)	1,114	0	7	96	343	668	4	45	276	761	28
	(構成比)	0.0%	0.6%	8.6%	30.8%	60.0%	0.4%	4.0%	24.8%	68.3%	2.5%
令和6年 (4/29~10/6)	679	0	1	58	195	425	1	16	199	460	3
	(構成比)	0.0%	0.1%	8.5%	28.7%	62.6%	0.1%	2.4%	29.3%	67.7%	0.4%
令和7年 (5/1~7/27)	539	0	1	32	152	354	0	16	176	347	0
	(構成比)	0.0%	0.2%	5.9%	28.2%	65.7%	0.0%	3.0%	32.7%	64.4%	0.0%
[参考] 対R6同期比 (4/29~7/28)	+ 261	+ 0	+ 0	▲ 2	+ 94	+ 169	+ 0	+ 12	+ 89	+ 161	▲ 1
[参考] 対R5同期比 (5/1~7/30)	+ 152	+ 0	▲ 2	▲ 5	+ 43	+ 116	▲ 2	▲ 1	+ 75	+ 95	▲ 15

【集計対象】調査期間中に救急搬送した熱中症(疑い含む)の傷病者の人員数



2 発生場所別

(単位：人)

年 (調査期間)	搬送 人員数	住居	工場、 工事 現場等	田畑、 森林等	教育 機関	公衆出入場所		道路	その他
						屋内	屋外		
令和5年 (5/1~10/1)	1,114	523	122	41	38	66	131	126	67
	(構成比)	46.9%	11.0%	3.7%	3.4%	5.9%	11.8%	11.3%	6.0%
令和6年 (4/29~10/6)	679	303	64	20	18	52	83	92	47
	(構成比)	44.6%	9.4%	2.9%	2.7%	7.7%	12.2%	13.5%	6.9%
令和7年 (5/1~7/27)	539	233	52	14	13	28	73	77	49
	(構成比)	43.2%	9.6%	2.6%	2.4%	5.2%	13.5%	14.3%	9.1%
【参考】対R6同期比 (4/29~7/28)	+ 261	+ 108	+ 32	+ 8	+ 0	+ 6	+ 36	+ 41	+ 30
【参考】対R5同期比 (5/1~7/30)	+ 152	+ 58	+ 19	▲ 1	▲ 1	+ 1	+ 19	+ 33	+ 24

資料 4

令和 7 年 7 月 2 9 日
健 康 福 祉 部

県民への熱中症予防の注意喚起について

1 熱中症予防啓発資材の製作

県統一のチラシ20,000枚、うちわ（令和7年度新規）10,000本を製作し、市町村と連携のうえ、回覧版、広報誌、イベント、健康講座等の機会を通して配布。

2 熱中症対策啓発動画の制作（令和7年度新規）

連携協定を締結する大塚製薬株式会社協力のもと、株式会社ファミリーマートや株式会社セブン-イレブン・ジャパンと連携した熱中症対策啓発動画を2種類制作。ファミリーマート店内のデジタルサイネージ、セブン-イレブンアプリのほか、県公式YouTube、県庁や総合支庁の大型モニターなどで放映。

3 プレスリリースによる注意喚起

熱中症のリスクが高まると予測される場合などに実施。

8回（4/18、4/25、5/20、6/5、6/16、6/20、7/8、7/17）

4 SNS（フェイスブック、X）による注意喚起

熱中症のリスクが高まると予測される場合などに実施。

12回（4/18、4/25、5/20、6/5、6/16、6/20、7/8、7/16、7/17、7/19、7/20、7/29）

5 知事定例記者会見における注意喚起

3回（4/25、6/11、7/2）

6 県ホームページにおける注意喚起

熱中症の特徴や予防・対処方法、熱中症対策啓発動画等を掲載。

6月20日からトップページにバナーを掲載。

7 県政ラジオ（FM山形・YBCラジオ）による注意喚起

6月から毎週放送。

8 県民のあゆみによる注意喚起

5月号のインフォメーションに熱中症予防のポイントを掲載。

資料5

令和7年7月29日
教 育 局

公立学校における熱中症対策について

1 学校管理下における熱中症受診状況（4～6月までの状況）

(1) 校種別医療機関受診数 (人)

	令和7年度	(参考)			
		令和6年度		令和5年度	
		4～9月		4～9月	
小学校	23	8	17	19	45
中学校	15	19	42	13	78
高等学校	11	8	28	6	53
特別支援学校	1	0	0	0	1
合 計	50	35	87	38	177

(2) 令和7年度（4～6月までの調査）行動別医療機関受診数 (人)

	運動中	授業中	部活動中	その他	合計
小学校	14	3	0	6	23
中学校	5	2	7	1	15
高等学校	4	1	5	1	11
特別支援学校	0	0	0	1	1
合 計	23	6	12	9	50

※運動中…体育の授業や体育行事、授業中…教室等授業中、その他…休み時間を含む

2 令和7年度の県教育委員会の取組み

(1) 熱中症事故防止に向けて例年より早期から注意喚起を実施

- 4月1日（火）、県立学校及び市町村教育委員会に対し対策徹底を要請する通知を发出。これを含め、今年度は注意喚起等の通知を5回发出
(4/1、4/24、5/9、6/16、7/8)
- 年度当初の各種会議（各学校長会議、県市町村教委教育長会議等）において、学校長及び教育長に対し直接対策徹底を呼びかけ

(2) 運動会・体育祭の実施時期の見直し

- 令和6年11月、令和7年度の運動会・体育祭の実施について、猛暑が予想される時期^{*}を避けるよう各公立学校に要請
※猛暑が予想される時期…令和6年度に熱中症警戒アラートが発表された7月下旬から9月上旬を想定
- 令和7年度に運動会等を実施する363校のうち、354校が猛暑と予想される時期以外に実施を予定。猛暑が予想される時期に計画している9校は、空調設備がある屋内での実施

農林水産業における高温・少雨の影響に係る対策会議

日時：令和7年7月29日（火）

10:00～11:30

場所：WEB会議

次第

- 1 開会
- 2 山形県農林水産部主催会議（7月28日開催）の情報共有
- 3 閉会

農林水産業における高温・少雨の影響に係る対策会議 出席者名簿

R7. 7. 29 (火) 10:00~11:30

団体名	所属 職名	氏名	摘要
鶴岡市	農政課 農政専門員	菅原 源太郎	
	農政課 農政主査	小南 文和	
	農山漁村振興課 主事	渡會 悠花	
酒田市	農政課長	阿部 典子	
	農林水産課 主事	深瀬 暁	
三川町	産業振興課長	菅原 勲	
庄内町	農林課 農産係長	河村 祥子	
遊佐町	産業課 農業振興係 主任	高橋 克幸	
笹川土地改良区			欠席
因幡堰土地改良区	事務局長	本間 洋昭	
	工務課長	安藤 寿克	
西郷土地改良区	事務局長	榎本 芳紀	
庄内赤川土地改良区	工務第二課長	土田 豊	
	国営施設管理室室長(兼) 赤川頭首工業務出張所長	伊藤 慶紀	
大町溝土地改良	管理係長	佐藤 吉嗣	
日向川土地改良区	工務課管理係	富山 湧太	
浜中広岡土地改良区			欠席
袖浦土地改良区			欠席
最上川土地改良区	工務第一課長	岩浪 義則	
月光川土地改良区			欠席
庄内たがわ農業協同組合	営農販売部 営農企画課長	五十嵐 貴之	
	営農販売部 営農企画係長	丸山 厚輝	
鶴岡市農業協同組合	営農販売部 生産振興課長	今野 大介	
余目町農業協同組合	営農販売係 主任	吉住 徹	
庄内みどり農業協同組合			欠席
酒田市袖浦農業協同組合	営農販売部長	加賀 徹	

【事務局】

山形県庄内総合支庁 産業経済部	農林技監(兼) 農村計画課長	門脇 健	
	次長(兼) 農業技術普及課長	高梨 良子	
	地域産業経済課長	小松 弘幸	
	農業振興課長	菅原 聡	
	産地研究室長	石川 妙	
	農村整備課長	佐藤 和徳	
	水産振興課長	加賀山 祐	
	家畜保健衛生課長	細川 みえ	

農業用水の状況について

1 取水の状況

- ・ 河川からの取水が非常に厳しい状況です。例年と比べて河川流量が少ないため渇水が懸念されています。
- ・ 土地改良区は、例年より早めに番水を実施しており、細やかな取水量調整や農家への節水の呼びかけを行っています。

2 農業用ため池等の貯水状況（令和7年7月15日時点）

- ・ 主な農業用ため池の貯水状況は、貯水率が64%～100%で、貯水量は平年比73%～100%となっています。

3 渇水に備えた対応・準備について

- ・ 最上川（幹事会7月30日開催予定）及び赤川（幹事会8月1日開催予定）渇水情報連絡協議会の適時開催を通して、農業用水の確保に向けた渇水情報の共有等を行ってまいります。
- ・ 引き続き、農業用水の状況及びため池等の貯水状況を定期的に把握し、関係者間において情報を共有していきます。
- ・ 土地改良区等においては、引き続き、番水や排水路からの反復利用など、節水やきめ細かな水配分の取組み強化をお願いします。
- ・ 出穂期を迎えるにあたり、限られた農業用水が受益地全体に供給されるためには、今まで以上に地域ぐるみの話し合いによるきめ細かな用水配分が必要となるため、末端まで適正な水配分が行われるようお願いします。
- ・ 渇水時の移動式ポンプによる応急措置等については、多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支払交付金の活用が可能ですので、詳しくは総合支庁農村計画課へご相談ください。

農作物の生育状況と高温・少雨を想定した技術対策

1 農作物の生育状況

○各作物の生育は、平年並み～やや早めで推移している。

- ・水 稲：出穂期は「はえぬき」、「雪若丸」が7月末頃、「つや姫」が8月上旬で、平年並みからやや早い見込みである。穂数は平年並みからやや少なくなる見込みである。品質と収量確保のため、間断かん水、飽水管理をするよう呼び掛けている。
- ・メ ロ ン：トンネル栽培の出荷盛期は7月20日頃で、8月上旬で概ね出荷終了となる。果実の大きさは平年並みだが、高温による日焼け果が散見されており、適期収穫を徹底している。
- ・えだまめ：生育は例年並みだが、水分不足の圃場では葉の裏返りが見受けられる。収穫は、茶毛系早生品種が7月20日頃から始まり、中生品種は8月上旬から始まる見込み。肥大不足・欠粒莢にならないよう灌水を指導している。
- ・か き：仕上げ摘果、新梢管理が行われており、肥大は平年並みである。日焼け果、カメムシ類の被害果が散見されており、摘果で対応している。
- ・日本なし：「幸水」の収穫は8月下旬からの見込みで、大きさは平年よりやや小さい。現在、修正摘果を実施している。
- ・トルコぎきょう：7月中旬から出荷盛期となっている。高温時の遮光が行われており、切り花品質は概ね良好である。

2 今後の高温・少雨を想定した水稻の技術対策

- ・用水を地域全体で有効利用できるよう、地域内で話し合っ「番水」を継続する。顕著に用水が不足している場合は、「用水の循環利用」等の対策を検討する。
- ・出穂開花期は特に水分を必要とするので、出穂状況をよく確認し、出穂直前から穂揃期頃まで湛水状態を維持する。
- ・穂揃期以降は水をためっぱなしにはせず、きめ細かな間断かん水や飽水管理を行って節水と地温低下に努める。

令和7年度農業用ため池・ダム等の貯水状況調査表

番号	名称	所在地	受益面積 (ha)	有効貯水量 (万m ³)	管理者	貯水状況 (6月1日)			貯水状況 (6月15日)			貯水状況 (7月1日)			貯水状況 (7月15日)										
						貯水量	貯水率	平年量	平年比	備考	貯水量	貯水率	平年量	平年比	備考	貯水量	貯水率	平年量	平年比	備考					
【庄内総合支庁】																									
1	下池	鶴岡市大山	189	793	西郷土地改良区	583	73.5%	548	107%		563	71.0%	507	111%		583	73.5%	497	117%		541	68.2%	506	107%	
2	上池	鶴岡市大山	56	258	庄内赤川土改区	258	100.0%	243	106%		258	100.0%	239	108%		258	100.0%	230	112%		243	94.2%	200	122%	
3	田代谷地	鶴岡市羽黒町川代	90	420	笹川土地改良区	420	100.0%	420	100%		420	100.0%	420	100%		420	100.0%	420	100%		420	100.0%	420	100%	
4	大沢ため池	鶴岡市羽黒町川代	136	153	笹川土地改良区	153	0.0%	151		※調査中止		0.0%	151		※調査中止		0.0%	151		※調査中止		0.0%	140		
5	玉川ため池	鶴岡市羽黒町玉川	1,368	282	笹川土地改良区	282	100.0%	282	100%		281	99.6%	281	100%		282	100.0%	282	100%		267	94.7%	267	100%	
6	上野新田	鶴岡市羽黒町東山	240	101	笹川土地改良区	101	100.0%	100	102%		97	96.0%	97	100%		101	100.0%	101	100%		85	84.2%	99	86%	
7	庄司谷地	鶴岡市天狗森	220	113	笹川土地改良区	113	100.0%	113	100%		112	99.1%	112	100%		113	100.0%	113	100%		111	98.2%	112	99%	
8	泉谷地	酒田市生石	73	380	大町溝土改区	376	98.9%	375	100%		378	99.6%	373	102%		378	99.5%	352	107%		377	99.2%	357	106%	
9	物沢	酒田市生石	177	106	大町溝土改区	106		106		※調査中止			106		※調査中止			106		※調査中止			105		
10	通越ため池	酒田市北沢	134	108	日向川土改区	108	100.0%	105	103%		108	100.0%	106	102%		108	100.0%	107	101%		108	100.0%	107	101%	
11	山谷	酒田市山谷	54	204	大町溝土改区	204	100.0%	196	104%		194	95.1%	194	100%		194	95.1%	193	101%		173	84.8%	192	90%	
12	金谷	酒田市山谷	73	189	大町溝土改区	183	96.8%	181	101%		156	82.5%	174	90%		189	100.0%	189	100%		141	74.6%	182	78%	
13	数河ため池	酒田市北青沢	4,564	457	日向川土改区	457	100.0%	452	101%		457	100.0%	452	101%		457	100.0%	457	100%		457	100.0%	457	100%	
15	五台ため池	酒田市下青沢	2,985	192	日向川土改区	192	100.0%	190	101%		192	100.0%	190	101%		192	100.0%	192	100%		192	100.0%	192	100%	
16	荒沢ダム	鶴岡市荒沢	17,324	24,551	荒沢ダム管理課	24,551	141.7%	22,663	108%		22,646	130.7%	18,895	120%		16,935	97.8%	16,336	104%		11,076	63.9%	15,181	73%	
17	五斗畑ため池	鶴岡市添川	27	75	最上川土改区	75	100.0%				41	54.7%				49	65.3%					52	69.3%		

「はえぬき」「雪若丸」は**出穂し始めました**。「つや姫」も**まもなく出穂**です。今後も**暑さ**が続く見込みです。今は稲の一生で最も水を必要とする**花水**、そしてその後は**間断灌水**を徹底！

<気象及び生育の状況>

鶴岡アメダスの6月28日から7月27日までの30日間での降雨は、7月16日の5mmのみで、この間の平均気温は、27.0℃と平年より**3.6℃高く**、日照時間は平年比**163%**、降水量は同**2%**、と、これまでにない高温多照少雨となっています。

このような気象の中、生育は進み作柄診断圃の出穂期の予想は、平年より**1~3日早く**、記憶に新しい高温登熟年の**令和5年並み**です。移植の早い「はえぬき」「雪若丸」は出穂期に達している圃場もあり、晩生の「つや姫」ももうすぐ出穂です。

表1 作柄診断圃の出穂期

品種	場所	年次	移植	出穂期
はえぬき 移植	鶴岡市 矢馳	本年(R7)	5月18日	(7月30日)
		前年(R6)	5月15日	8月1日
		令和5年	5月15日	7月29日
		平年	5月16日	7月31日
つや姫 移植	鶴岡市 上清水	本年(R7)	5月13日	(8月4日)
		前年(R6)	5月12日	8月6日
		令和5年	5月12日	8月4日
		平年	5月12日	8月5日
雪若丸 移植	鶴岡市 長沼	本年(R7)	5月10日	(7月30日)
		前年(R6)	5月12日	8月2日
		令和5年	5月12日	8月2日
		平年	5月12日	8月2日

※本年:7/28見込み 平年:2020~2024年の5か年平均

<当面の技術対策>

1 メリハリのある水管理で稲体活力の維持・登熟促進

2週間予報、1か月予報とも今後も**気温が高い**予報で、河川の水も少なくなっています。用水の使用が集中すると、水がかかりにくい圃場が出てくる恐れがあり、地域の番水計画や圃場ごとの生育状況を踏まえ、用水を地域内で効率的・効果的に活用し、**地域全域にいきわたるよう配慮**しましょう。

メリハリのある水管理を徹底し、品質向上、収量向上につなげましょう。

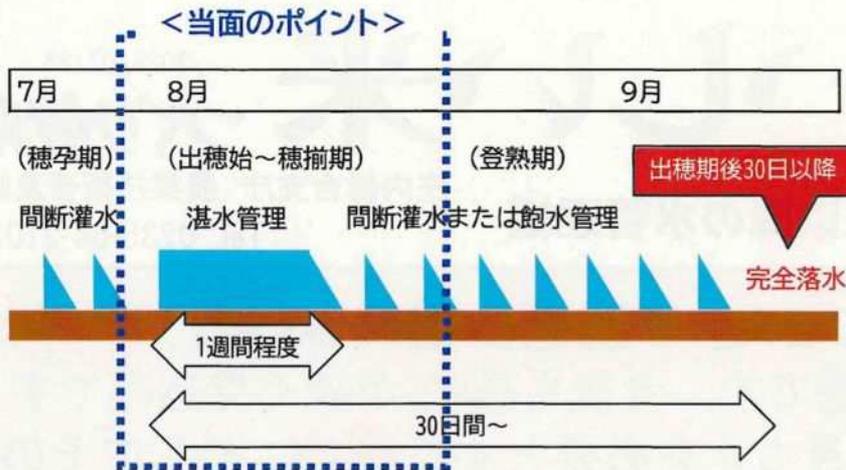
①出穂始から穂揃期にかけては**花水**

稲は出穂・開花の時に多くの水を必要とします。この時期の水不足は、穂の出すくみや不稔籾の原因となります。出穂始めから穂揃期までは水深2~3cmの湛水状態を保ちましょう。

②穂揃期後から出穂後30日頃までは**間断灌水・飽水管理**

登熟能力を支えるのは葉と根の活力であり、根は適度な水分と酸素を必要とします。そのために、間断灌水または飽水管理を行いましょ。

湛水したままでは根傷みや根腐れが生じ、特に高温時は長い時間高水温にさらされることになり、根のダメージがさらに大きくなります。**湛水しっぱなしは絶対に避けましょ。**



③強風時は一時的に深めの水管理

フェーン現象や台風による強風は、稲体水分を低下させ、白穂や茶米の発生を招きます。強風時は、稲体の水分低下・消耗を防ぐために**一時的に水深3～5cm**の湛水状態としましょう。その後は必ず間断灌水または飽水管理に戻しましょう。



④刈り取りに向けた準備

出穂以降も高温が予想されることから、出穂が早い以上に**刈り取りが早く**なります。表2の通り、「スマートつや姫」の生育予測でも、「はえぬき」「雪若丸」の5月10日移植では7月中に出穂し、9月早々に刈り取り開始となります。特に「はえぬき」「雪若丸」では高温登熟による**刈取適期積算気温50℃前倒し**も適用となり9月1日、2日とかなり早くなります。品種ごとに適期内に刈り取れるよう、収穫機械や作業場の準備を**計画的に**進めましょう。

表2 【「スマートつや姫適期作業カレンダー」による生育の予測】

移植時期	予測出穂期			刈取開始予測		
	はえぬき	雪若丸	つや姫	はえぬき	雪若丸	つや姫
5月10日	7月28日	7月29日	8月2日	9月1日*	9月2日*	9月9日*
5月15日	7月29日	7月30日	8月3日	9月2日*	9月3日*	9月12日
5月20日	8月1日	8月2日	8月7日	9月5日*	9月7日*	9月18日

注)モデルは庄内平坦(鶴岡市藤島)、移植時の苗の葉数は2.5枚
 ※:7月28日時点の予測で高温登熟年に該当し積算気温50℃前倒し

2 病虫害対策

① いもち病

葉いもちの発生が例年になく多くなっています。葉いもちの発生している圃場では穂いもちも発生しやすくなります。穂孕期あるいは穂揃期の防除により穂いもちの発生を防ぎましょう(農薬ごとの使用適期を必ず確認)

② 斑点米カメムシ類

カメムシ類の発生も多くなっています。2回の基本防除を徹底しましょう(1回目:穂揃期、2回目:穂揃期の7～10日後)。2回目防除後に水田内で斑点米カメムシ類を確認した場合は、2回目防除の7～10日後に補完防除を行いましょう(農薬の収穫前使用日数と使用回数を必ず確認)

熱中症予防と農作業事故防止のため、定期的に水分と休憩を取りましょう

- 作業は涼しい時間帯に
- 塩分と水分をこまめに補給
- 定期的に休憩を
- 作業は涼しい服装で

出穂期は中生品種7月31日頃、「つや姫」8月6日頃の見込み

**まもなく出穂期！高温が続きます！
時期に合わせた水管理で登熟向上を！**

1 出穂の状況

出穂期は、生育診断圃「はえぬき」「雪若丸」で7月31日頃（平年8月2日頃）、「つや姫」では8月6日頃（平年8月8日頃）と見込まれています。「はえぬき」などの中生品種では、まもなく走り穂が出てくるとみられます。

管内平坦部の出穂盛期・見込み

品種	見込み	品種
ふくひびき	はえぬき・雪若丸・ひとめぼれ	つや姫
7月28日頃	7月31日頃	8月6日頃

2 これからの水管理

8月の気温も高い予想となっています。水管理を徹底し、収量と品質向上につなげましょう！

出穂直前～穂揃期頃まで 稲体が最も水を必要とする時期です！！

2～5cmの水深で湛水状態を維持しましょう。

穂揃期以降 水のためっぱなしはせず、根の健全化に努めましょう！！

間断かん水や飽水管理に移行しましょう。土地改良区や地域の水利使用規則を守りながら、きめ細かな水管理により水温・地温を下げ、根の健全化に努めましょう。

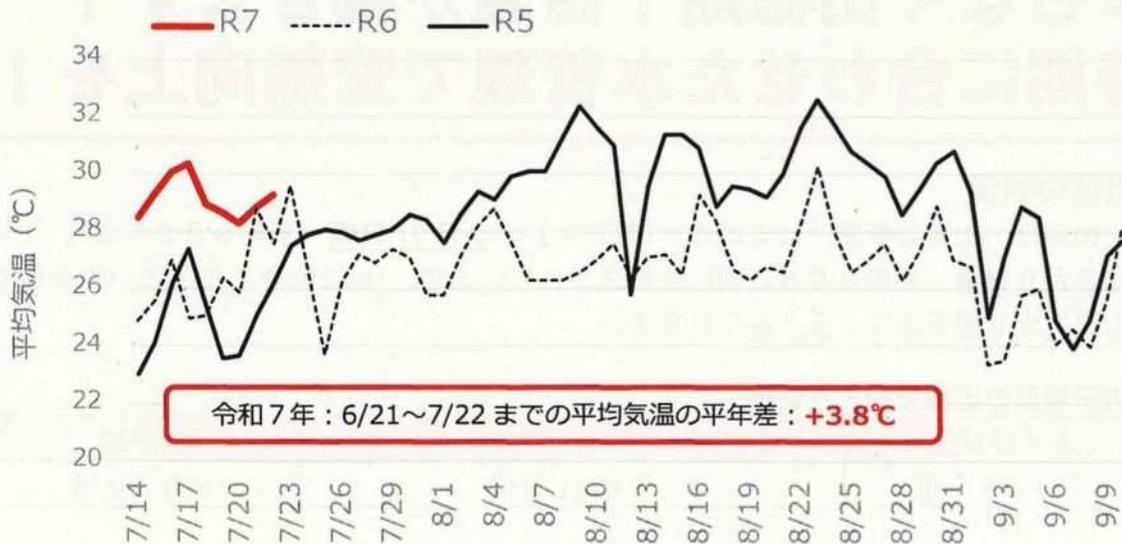
- 7月の降水量※は平年の2%でした。 ※酒田アメダス、7月1日～22日
- 出穂時期に用水が集中すると、水がかかりにくい圃場が出てくる恐れがあります。
- 地域の番水計画 及び 圃場の生育状況を踏まえ、**計画的に余裕を持って早めに入水する**など、用水を地域内で効率的・効果的に活用し、地域全域や圃場に行き渡るよう配慮しましょう。

3 斑点米カメムシ類の発生量「多い」

- ・ 地域全体の斑点米カメムシ類の密度低減のため、JA や地域で定められている期日まで畦畔や農道の草刈りを実施しましょう。
- ・ 各地域の出穂状況に合わせて、**穂揃期及び穂揃期7～10日後の2回の基本防除を徹底してください。**

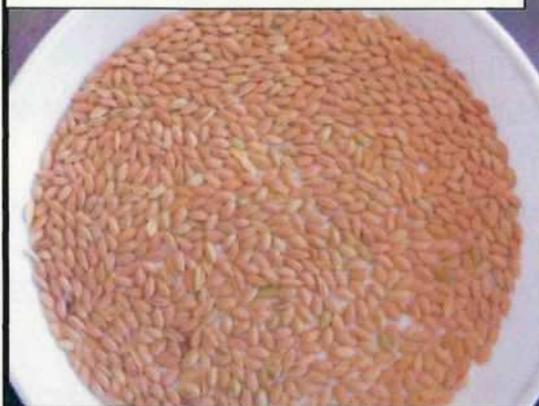
4 適期刈取りに向けた準備

- ・ 6月中旬以降、平年より気温がかなり高い状態が続いています。
 - ・ 7月17日発表の向こう1か月予報（7月19日～8月18日）では、引き続き晴れの日が多く、気温の高い状況が続く見込みとなっています。
 - ・ 令和5年は8月以降、高温少雨で経過し、登熟が暦日で1週間程度早まりました。
 - ・ 刈遅れすると胴割粒の発生が助長されるなど、品質低下につながります。
- 適期に刈取りを開始できるよう、早いうちから収穫機械や作業体制を整えておきましょう！



7月中旬～9月中旬までの日平均気温（酒田アメダス）

令和5年 生育診断圃の登熟状況



8月29日 はえぬき (7/30出穂)
青糲歩合 23%程度



9月5日 つや姫 (8/6出穂)
青糲歩合 22%程度

「はえぬき」では8月下旬には刈取りできる状態の圃場が多くみられた

休息と
とろろ



**引き続き暑い日が続きます！
無理はせず水分、休息をしっかりととりましょう！**

令和7年7月29日
庄内総合支庁建設部

庄内総合支庁建設部管理ダムの貯水状況

- 庄内管内の県管理ダムの貯水率は約4～6割となっており、5カ年平均値を下回っています。
- 建設部が構成員になっている「渇水情報連絡協議会」の開催状況は以下のとおりで、関係機関との状況共有・対応協議を行っております。
 - ・赤川水系（定例会6月5日、専門部会7月25日）
- また、各ダムにおける利水調整協議会の開催状況は次のとおりです。
 - ・温海川ダム（準備会：7月23日）
 - ・田沢川ダム（準備会：7月25日）
 各準備会での情報交換を踏まえ、貯留水位に注意を払いつつ、適切な放流量を確保しています。
- 通常、渇水が起こりそうな場合、水利用に極力支障が生じないように関係利水者と情報共有を図ることや、取水量を調整するなどダムからの放流量を減らすことにより、貯水量をできるだけ長持ちさせるよう対応を行います。
- 今後も気象情報や貯水率を注視しながら、市町村及び利水者で構成する渇水情報連絡協議会等を通して情報共有していきます。

表 ダムの貯水状況（令和7年7月28日8時現在）

ダム名	所在地	目的	貯水率(%)			備考
			本日	5か年平均 (R2～6)	5か年平均 との差	
荒沢ダム	鶴岡市	F・N・P	57.5	72.0	▲ 14.5	
温海川ダム	鶴岡市	F・N・P	41.3	98.5	▲ 57.2	
田沢川ダム	酒田市	F・N・W	53.1	94.4	▲ 41.3	

※ 目的凡例 F:洪水調節 N:流水機能の維持 W:上水道 P:発電

※ 治水専用の月光川ダムを除く

仮に今後も降雨がなかった場合は、荒沢ダムは9月上旬に、温海川ダムは8月中旬に、田沢川ダムは8月下旬に、貯水率が0%になると推測しています。



写真1 田沢川ダム水位 (R7.6.6 時点)



写真2 田沢川ダム水位 (R7.7.28 時点)

以上

令和7年度 庄内管内の水道の状況について

令和7年7月29日
庄内総合支庁保健福祉環境部

水道事業者名	少雨 水道への影 響の有無	給水制限について 給水制限実施・ 予定の有無	節水呼びかけについて 広報・HP等による 通知実施の有無	左記について ・給水制限実施の状況 (制限開始日・内容等) ・広報の状況 (開始日・町報・HP等) ・会議の開催など	備考
008 鶴岡市	影響なし	予定なし	予定なし		現状では影響がないものの、自己水源では取水量が若干減少している。今後少雨が継続した場合は、給水区域の切替や節水の呼びかけ等により対応する。
006 酒田市	影響あり	未定	広報済み	7/27 節水の協力	塩水遡上対策設備設置済み
019 庄内町	影響なし	予定なし	予定なし		
033 遊佐町	影響なし	予定なし	予定なし		

令和 7 年 7 月 2 9 日
企 業 局

高温・少雨の企業局事業への影響について

1 水道用水供給事業

- 企業局では、下記の 6 つのダムを水源として、23 市町に水道用水を供給。
(県全体の水道用水に占める企業局供給分の割合は約 58%)
- ダムの貯水率が 5 ヶ年平均を下回っているものの、今のところ用水供給への影響はなし。

令和 7 年 7 月 28 日 8 時現在

給水地域	村山	最上	置賜		庄内(南部)	庄内(北部)
水源ダム (所管)	寒河江ダム (国交省)	神室ダム (山形県)	水窪ダム (農水省)	綱木川ダム (山形県)	月山ダム (国交省)	田沢川ダム (山形県)
貯水率	81.9%	73.6%	47.4%	93.4%	82.4%	53.1%
5 カ年平均貯水率	98.0%	88.6%	58.9%	98.2%	93.2%	94.4%
5 カ年平均との差	▲16.1%	▲15.0%	▲11.5%	▲4.8%	▲10.8%	▲41.3%

2 工業用水道事業

- 企業局では、3 つの工業用水道事業(酒田、福田、八幡原)により、52 社・59 事業所に工業用水を供給。
- 酒田は最上川、福田は地下水、八幡原は水窪ダムを水源としており、福田及び八幡原については、今のところ給水への影響はなし。
- 酒田については、最上川流量の減少に伴う塩水の遡上により、7/19(土)夕刻から、現取水口の 800m 上流地点に仮設取水ポンプを設置し、そこからの取水に切り替え。7/27(日) 0:30 に仮設取水口まで塩水が遡上し、工業用水への混入が始まり、7/28(月) 12 時現在、受水企業 24 社中、2 社の操業に影響が出ている。

3 電気事業

- 企業局では、水力 14、太陽光 1、風力 1 の 16 発電所で、県内で消費される電力量の約 5.0%を発電。
- 稼働中の 11 水力発電所は、9 ダム、2 河川を水源としており、発電量の減少はあるものの、今のところ事業への影響はなし。

以上

令和7年7月29日
防災くらし安心部

林野火災野火等の発生状況等について

1 令和7年の発生状況

令和7年は、前年に比べ4月から5月の春の時期は発生件数が少なかったが、7月に入り発生件数が多くなっている。

(括弧内はうち林野火災の件数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計
令和7年	1	1	5(1)	11(1)	5(1)	9(1)	19	51(4)
令和6年	0	3	6	55(19)	23(7)	9(2)	4	100(28)

※件数は速報値、令和7年7月の件数は7月27日現在

2 林野火災野火等の多発への対応

(1) 林野火災野火等多発警報の発令

発令期間：令和7年7月24日（木）から7月30日（水）まで

7月17日（木）から7月23日（水）までの1週間に、県内において林野火災野火等が10件発生。市町村及び消防本部に通知し、県民に対する火災予防の啓発を要請し、報道機関にプレスリリースを実施。

(2) 県民に要請している火災防止のための注意事項

- ①強風時及び乾燥時には、たき火、野焼き等をしない
- ②枯れ草等のある火災が起こりやすい場所では、たき火をしない
- ③たき火等火気の使用中は、その場を離れず、使用後は完全に消火する
- ④火入れを行う際は、市町村の許可を必ず受ける
- ⑤たばこは、指定された場所で喫煙し、吸いからは必ず消すとともに、投げ捨てない
- ⑥火遊びはしない

(参考) 林野火災野火等多発警報の発令基準

1週間に10件以上の林野火災及びその他火災（空地、田畑、河川敷等）が発生した場合に発令する。発令の期間は、発令の日から1週間。

なお、発令期間中に10件以上の林野火災及びその他火災が発生した場合には、発令期間終了日の翌日からさらに1週間延長する。